

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

172-644

事務事業名	学校教育振興事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	学校教育課		包含する細々目	1	10	2	2	10	1	2,942
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり					1	10	3	2	10	1	3,422
施策	22 義務教育の充実											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議								
		事業期間	年度～	年度	関連計画 条例等							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	児童・生徒	児童生徒数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			9639	9550		
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	学校教育の充実に必要な教材等消耗品・印刷・図書・備品類を整備する	学校教育の充実に必要な教材等消耗品・印刷・図書・備品類が整備できた学校数	18目標	29	最終目標	29
			18実績	29	19目標	29
			23目標	29	23実績	
			18目標		最終目標	
		18実績		19目標		
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	学校教育の充実に必要な教材等消耗品・印刷・図書・備品類の整備を行う <参考>細々目名:小学校・中学校教育振興一般経費	学校教育の充実のため必要な消耗品、印刷製本、保険加入、マイクロ運転、学友林、備品、各種負担金等の整備を行う。	整備金額(千円)	6459
	18年度の実績			
	19年度計画	学校教育の充実のため必要な消耗品、印刷製本、保険加入、マイクロ運転、学友林、備品、各種負担金等の整備を行う。	整備金額(千円)	6364

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	8	8
一般財源	6,451	6,356	
事業費計(A)	6,459	6,364	
人件費	正規職員所要時間	18年度 200	19年度 200
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	715	715
	トータルコストA+B	7,174	7,079

特定財源内訳や補足事項	その他:副読本売却代金 18年度予算中29,674千円を保健対策事業へ分割 " 850千円を防犯ブザー配付事業へ分割 43地域安全の推進へ枠127千円振替
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	教材等の整備を行うことにより、環境が整い生きる力をつけることができる	文部科学省基準を満たした学校数	現状値	29	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	29
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ 公立小中学校を設置したときから、必要な経費である	事業を取り巻く状況の変化 特になし	事業に対する市民や議会の意見
---	----------------------	----------------

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 結びつく (その理由)	学校教育の基本的な経費であり、上位目標達成の基礎となるものである。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 余地がない (その理由)	成果(整備) = 事業費である。予算を投入しただけの成果は上がる。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)	対象は飯田市立小中学校児童生徒であり、見直しの必要はない		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 影響あり (その理由)	学校教育に重大な障害がある。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)	必要な教材等の整備であり意図の見直しの必要はない。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) <input type="checkbox"/> 類似事業なし (類似事業名、理由)	
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) <input type="checkbox"/> 必要ある (その理由)	飯田市立学校への経費負担であるため、市が経費負担を行うことは当然である。(児童生徒へ還元される教材等は、保護者負担である)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) <input type="checkbox"/> 不可能 (その理由)	成果(整備) = 事業費であるためには不可能である。
			効率性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (その理由)	児童生徒共通使用する教材は公費負担、児童生徒に還元される教材は保護者負担で行っており、妥当である。
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (その理由)	児童生徒共通使用する教材は公費負担、児童生徒に還元される教材は保護者負担で行っており、妥当である。

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 <input type="text"/> 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	